

令和5年度 第1回国民健康保険運営方針運営協議会

第3期岩手県国民健康保険運営方針 各種統計データ

岩手県保健福祉部健康国保課



被保険者別保険者（令和3年度末現在）

○保険者の小規模化が進み、うち被保数5千人未満が半数を超える。

被保険者数	保険者数	保険者名
3千人未満	13	葛巻町、西和賀町、金ヶ崎町、平泉町、住田町、大槌町、岩泉町、田野畑村、普代村、軽米町、野田村、九戸村、一戸町
3千人以上 5千人未満	6	陸前高田市、雫石町、岩手町、矢巾町、山田町、洋野町
5千人以上 1万人未満	8	大船渡市、久慈市、遠野市、釜石市、二戸市、八幡平市、滝沢市、紫波町
1万人以上 2万人未満	3	宮古市、花巻市、北上市
2万人以上	3	盛岡市、奥州市、一関市

資料：岩手県「国民健康保険事業年報」

被保険者の年齢構成の年次推移（％）

○全国と比較すると、65－74歳の比率が高い。

岩手県

0-19歳 20-39歳 40-64歳 65-74歳



R1

R2

R3

全国

0-19歳 20-39歳 40-64歳 65-74歳



R1

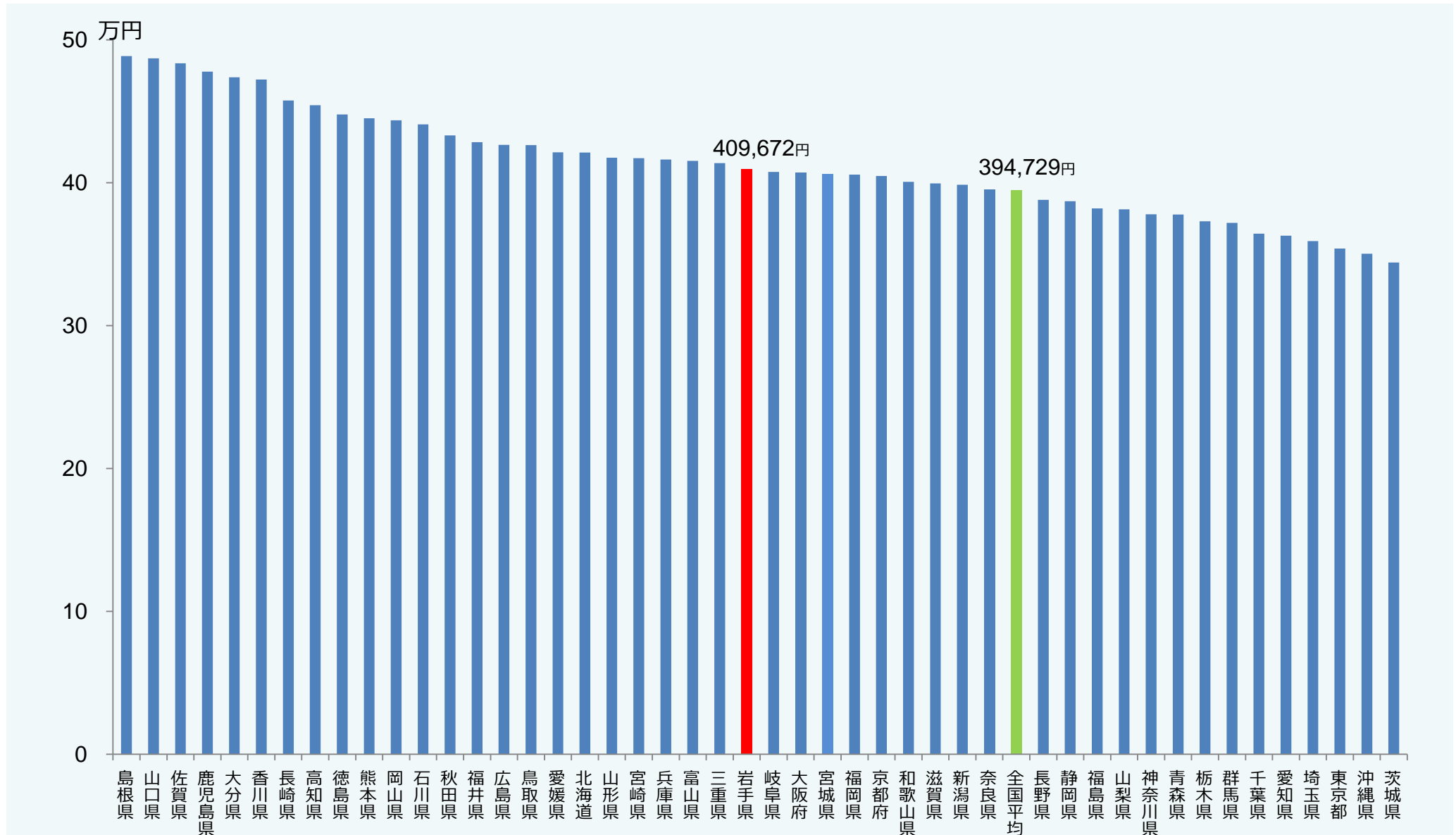
R2

R3

資料：厚生労働省「国民健康保険実態調査」

都道府県別一人当たり医療費（令和3年度）

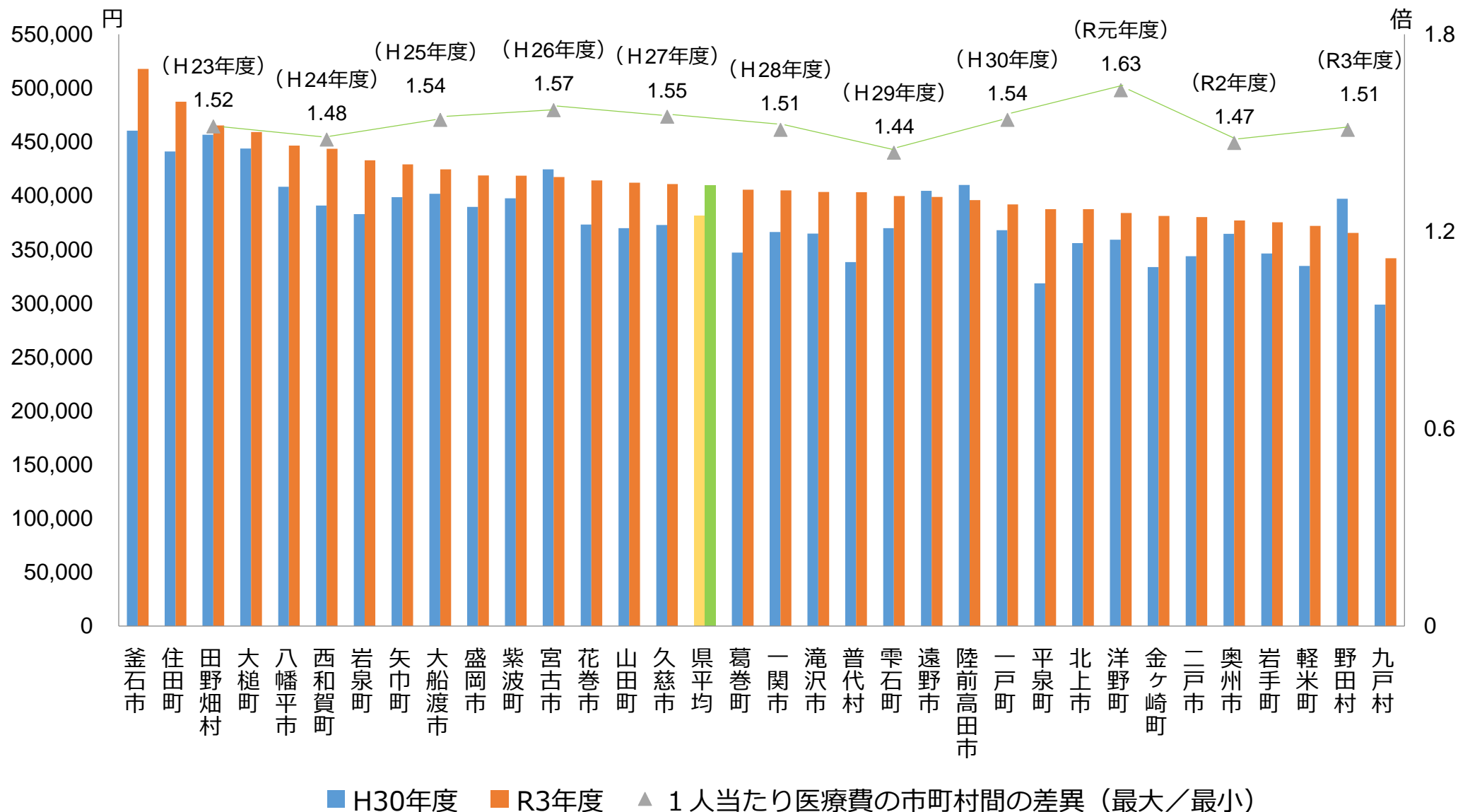
○全国では中位（24位）だが、全国平均より高い。



資料：厚生労働省「国民健康保険事業年報」

市町村別一人当たり医療費（令和3年度）

○一人当たり医療費の市町村間の差異は、約1.5倍程度



資料：岩手県「国民健康保険事業状況」

国保税の賦課方式の状況

○近年、3方式に移行する市町村が増加

賦課方式	市町村数		被保険者数	
	H30年度	R 3 年度	H30年度	R 3 年度
3方式 (所得割、均等割、平等割)	12市町村	15市町村	179,175人	185,069人
4方式 (所得割、資産割、均等割、平等割)	21市町村	18市町村	96,431人	69,462人

資料：岩手県「国民健康保険事業状況」

【補足】

賦課方式とは、保険税を賦課する方法のこと。

- ・ 2方式 (所得割・均等割)
- ・ 3方式 (所得割・均等割・平等割)
- ・ 4方式 (所得割・均等割・平等割・資産割)

所得割・・・世帯に属する被保険者の前年度総所得金額等に応じて算定

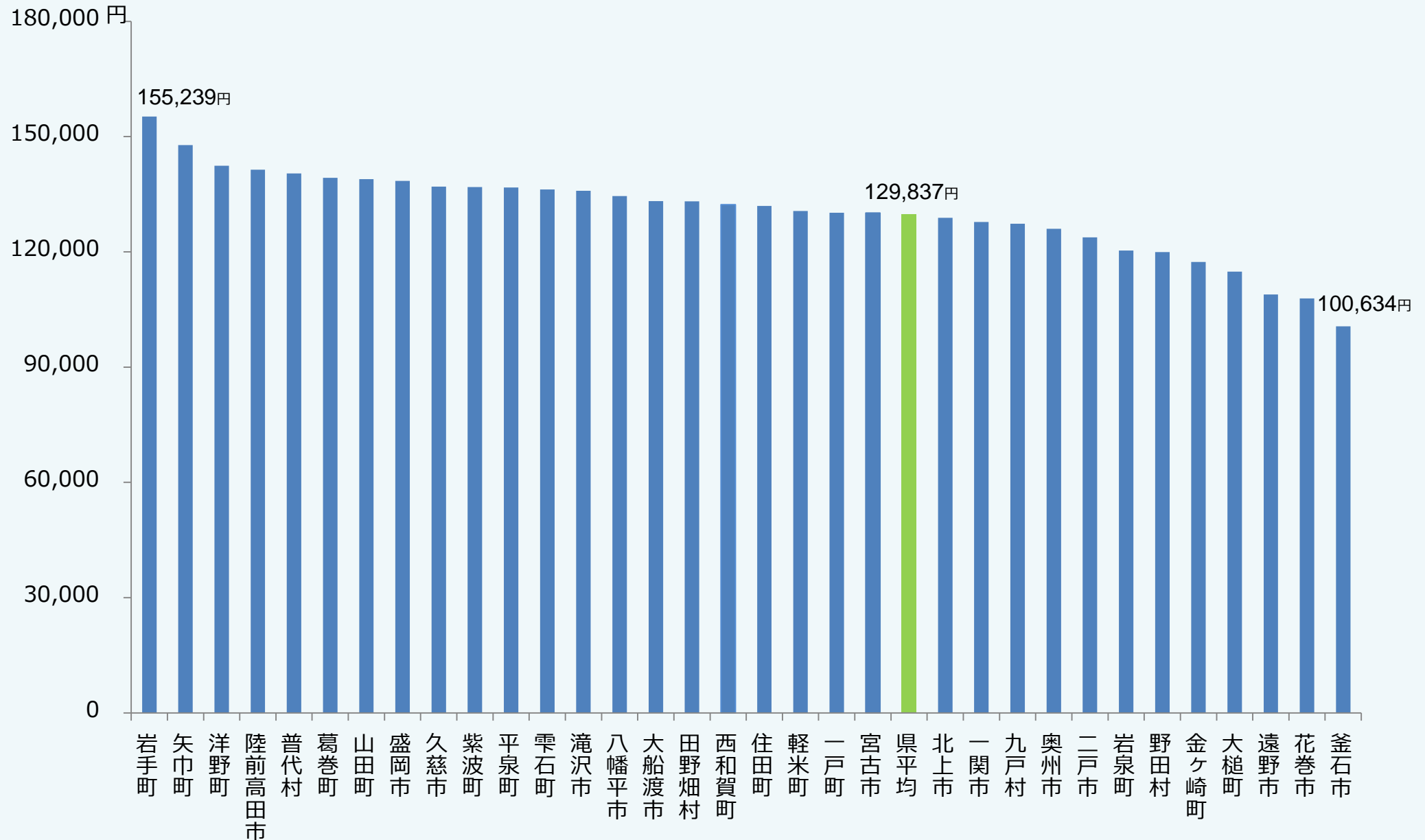
均等割・・・世帯に属する被保険者数に応じて算定

平等割・・・世帯単位で算定

資産割・・・世帯における固定資産税等に応じて算定

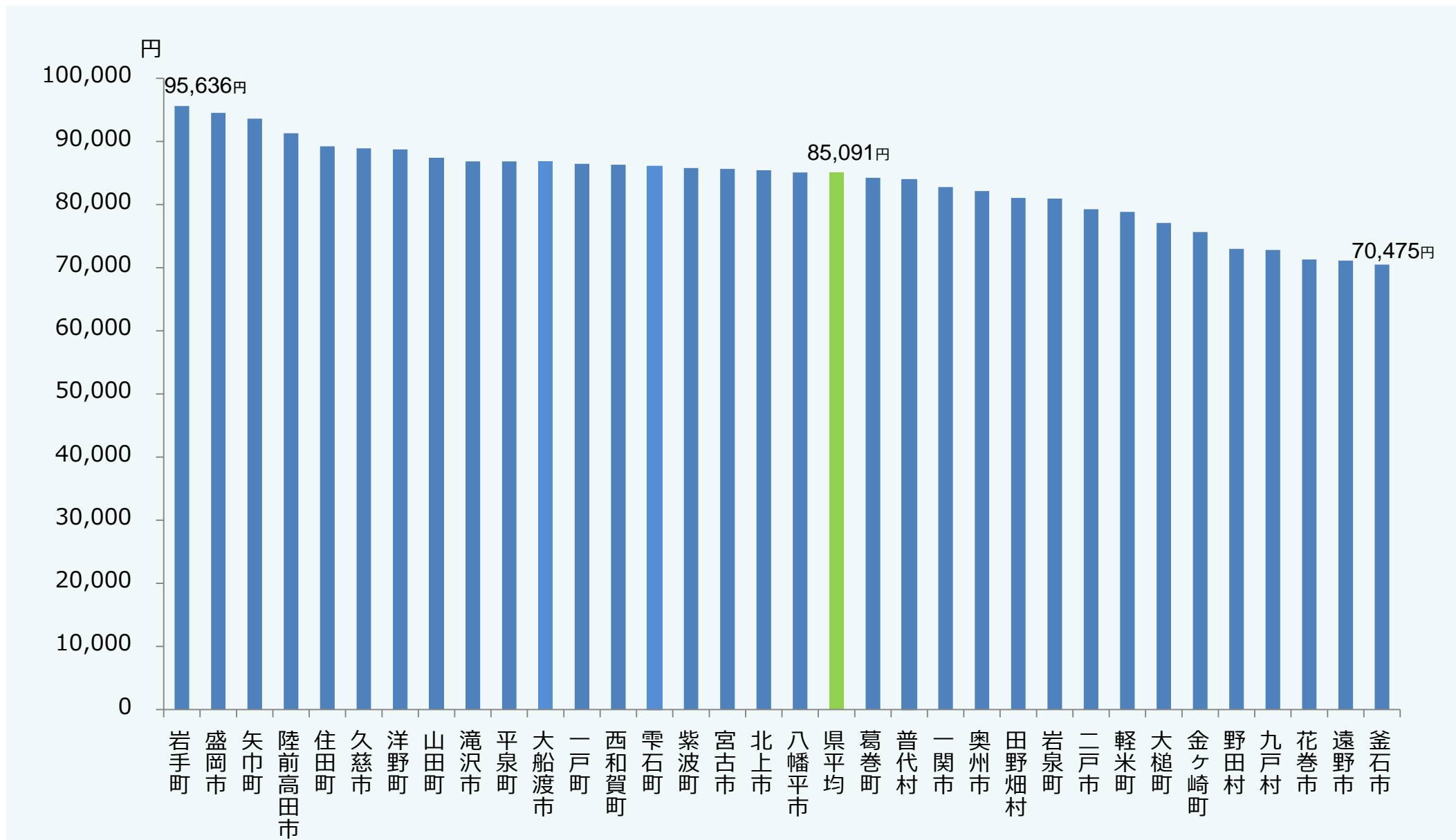
1世帯当たり調定額（令和3年度）

○ 1世帯当たり調定額が最も高いのは岩手町の155,239円、最も低いのは釜石市で100,634円で、差異は1.54倍となっている。



被保険者1人当たり調定額（令和3年度）

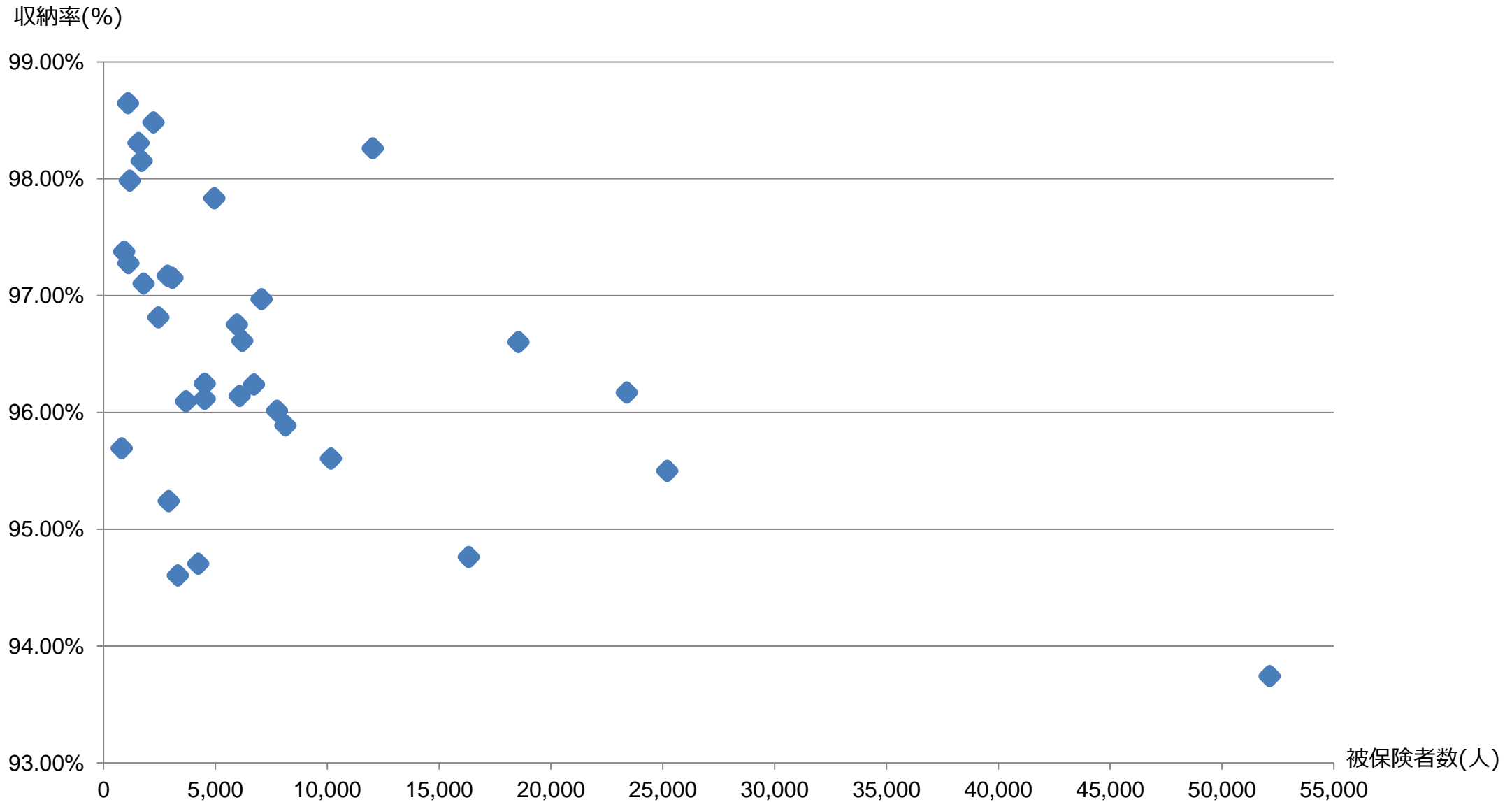
○被保険者1人当たり調定額が最も高いのは岩手町の95,636円、最も低いのは釜石市で70,475円で、差異は1.36倍となっている。



資料：岩手県「国民健康保険事業状況」

被保険者数規模別収納率（令和3年度）

○収納率（95.67%）は、全国平均（93.69%）よりも高い（令和3年度：16位）



特定健診・特定保健指導実施状況

- 特定健診受診率は、全国平均より高い（順位：6位）。
一方で、特定保健指導実施率は、全国平均より低い（順位：30位）。

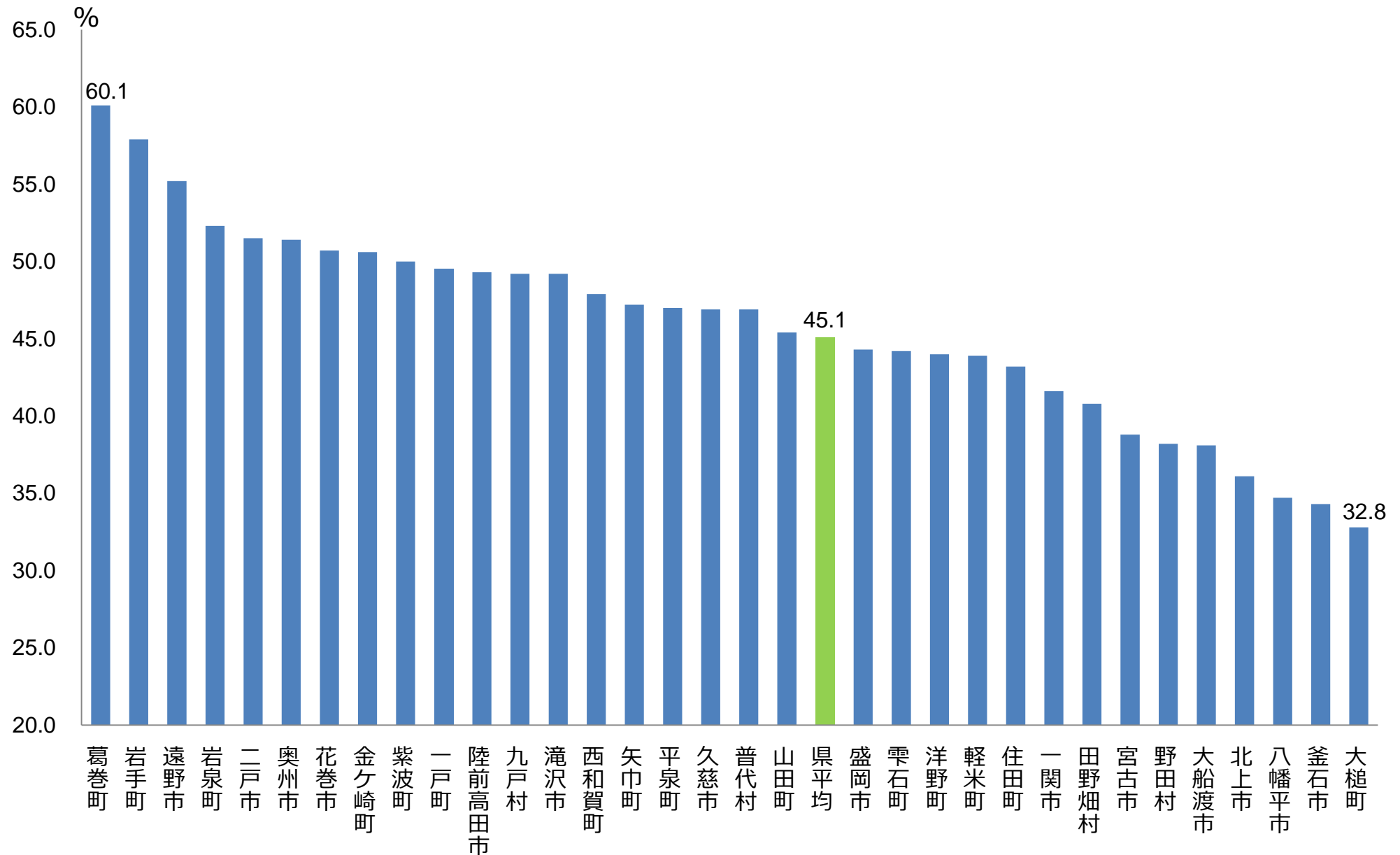
区 分	目標値	R元年度	R 2 年度	R 3 年度
特 定 健 診	60%	47.9% (38.0%)	42.5% (33.7%)	45.1% (36.4%)
特 定 保 健 指 導	60%	25.0% (29.3%)	29.4% (27.9%)	26.9% (27.9%)

資料：厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導等の実施状況」
国保連合会「特定健診・特定保健指導実施結果集計表」

※括弧内の数値は全国実施率
※目標値は第3期特定健診等実施計画期間（H30年度～H35年度）における数値

特定健診実施率（令和3年度）

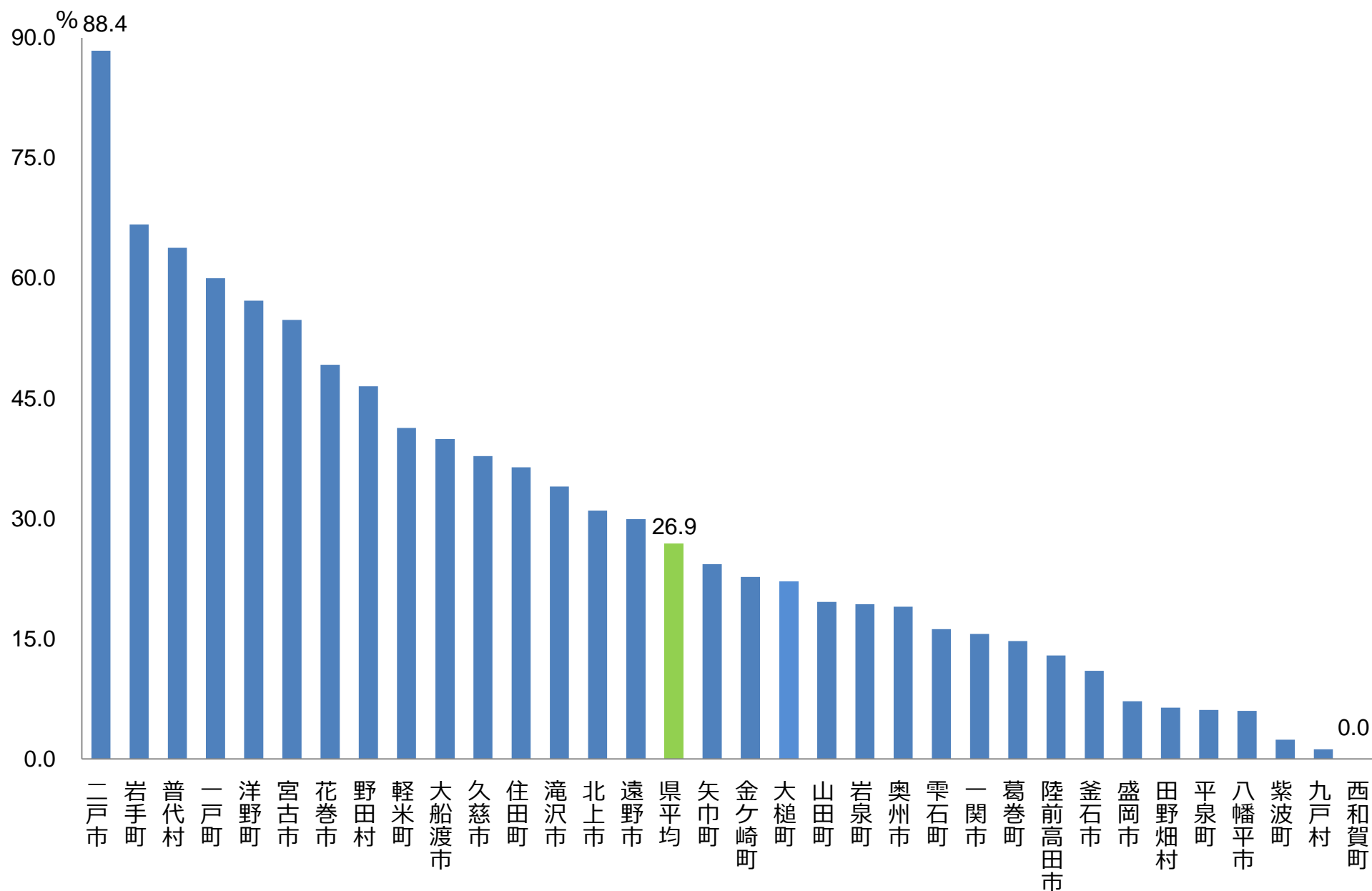
○市町村によって、取組状況の差が大きい。



資料：国保連合会「特定健診・特定保健指導実施結果集計表」

特定保健指導実施率（令和3年度）

○市町村によって、取組状況の差が大きい。



後発医薬品使用割合の推移（数量ベース）

○後発医薬品の使用割合は、全国平均より高い（順位：3位）。

区 分	R元年度	R 2 年度	R 3 年度
岩 手 県 全 体	85.6%	86.7%	86.4%
市 町 村 国 保	86.5%	87.4%	86.8%
全 国 （市 町 村 国 保）	80.4% (80.5%)	82.1% (82.2%)	82.1% (82.0%)

資料：厚生労働省「調剤医療費（電算処理分）の動向」

【今後の見通し】被保険者数及び医療費の推移

○被保険者数の減少に伴い全体の医療費は減少するが、自然増（医療の高度化、高齢化の進展）により、一人当たり医療費の増加を見込む。

